

北海道立総合体育センター
要求水準書

令和3年10月

北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課

第1 本書の位置付け

本要求書は、指定管理者が行う業務の細目を定めるとともに、指定管理者に北海道立総合体育センター（以下「体育センター」という。）の管理を行わせるに当たり、北海道（以下「道」という。）が要求する、指定管理者が提供すべき公共サービスの水準等を示すものである。

指定管理者の候補者の審査に当たっては、業務計画書の内容が、次に掲げる要求水準を全て満たすものであるかどうかについて審査を行う。なお、業務計画書の作成に当たっては、要求水準の一つでも満たしていない場合又は要求水準を満たすことが確認できない場合は、必須項目審査により選定対象外となることに留意し、業務の細目毎に、業務の処理方法その他の仕様について明確にするものとする。

指定管理者は、指定期間を通じて、本書に定める要求水準を満たすよう指定管理業務を遂行し、道は、指定管理者による業務の遂行状況及び公共サービスの水準が、要求水準を満たしているかどうかについて、定期的に又は随時にモニタリングを行う。

なお、道は、申請者の提案の内容又は指定期間における指定管理者の業務の遂行状況等を勘案し、要求水準書の内容について、必要な見直しを行う場合がある。

第2 業務の細目及び要求水準

指定管理者は、体育センターの使命及び目的を踏まえ、次に掲げる管理運営の基本方針等に沿って、効果的かつ効率的に本業務を遂行するものとする。

1 体育センターの使命

より多くの道民に、体育・スポーツ活動や文化・教養的なイベント等に気軽に親しめる環境を提供することにより、道民の生活の安定と本道のスポーツ振興の充実を図る。

2 目的【上記使命を具体化するため、管理運営事業を通じて達成しようとする成果】

- (1) 指定管理業務等を通じて、施設を利用した体育・スポーツ活動等への参加を促し、利用促進を図る。
- (2) 日常的な保守点検・巡回等の業務を適切かつ効率的に実施し、利用者に安全で快適な利用環境を提供する。
- (3) 地域の住民が身近にスポーツ・文化活動等に参加でき、地域と一体化した協働を推進する。

3 基本方針等

(1) 基本方針

ア 施設の位置付け

- a 道民のスポーツ活動を一層盛んにしていくための多様なスポーツに対応した中核施設
- b 本道のスポーツの将来を担う殿堂として、スポーツの国際化に伴う各種競技大会の開催、スポーツ競技力の向上及び各種スポーツ指導者の養成・研修の充実を図るための施設

イ 主な事業内容

- a 公認スポーツ大会をはじめとする各種スポーツ、文化・教養的イベントの開催
- b 競技選手や一般のスポーツ愛好者のためのスポーツ医・科学に基づく科学的な研究成果を取り入れたトレーニングや健康づくり
- c だれもが、いつでも、どこでも、スポーツに親しむことができる生涯スポーツの振興
- d 各種スポーツ指導者の養成・研修及び武道に関する指導者の養成・選手強化
- e 本道スポーツ界の歴史や各種スポーツ情報の提供

(2) 運営方針

ア 本道のスポーツ振興の拠点としての役割を担う施設

- a 本道のスポーツ振興の拠点としての役割を担う施設
- b 国際的・全国的規模の競技会への対応
- c トレーニングセンターとしての機能
- d 健康、体力づくりセンターとしての機能
- e スポーツ指導者研修センターとしての機能
- f スポーツ情報センターとしての機能
- g スポーツ関係団体の拠点としての機能

イ 利用者ニーズを踏まえたスポーツ・文化・教養的イベント等多目的に活用できる施設

(3) 維持管理方針

ア 利用者が快適に利用できるよう、施設及び設備の適切な維持管理を行う。

イ 施設の利用状況を常に把握し、効率的な保守点検及び警備等を実施し、事故、災害、犯罪等を未然に防止する。

4 管理の目標

指定管理者は、本業務の実施に当たり、北海道公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例施行規則（平成16年11月26日北海道規則第125号。以下「規則」という。）第10条に基づき、指定管理者が当該指定期間に管理に係る業務を通じて住民に提供すべきサービスその他の業務の質の向上に関する目標（以下「管理の目標」という。）を達成するため、必要な措置等を講じるものとする。

なお、知事は、北海道公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例（平成16年10月19日北海道条例第89号）第4条の規定により指定管理者候補者の選定を行う際、同条第2号の基準に基づき申請者の業務計画書の内容が、管理の目標を達成するために適切かつ効果的なものであるかどうかについて審査し、必要な指示等を行うとともに、管理の目標に係る達成状況に関し、定期的に公表する。

体育センターの「管理の目標」は、別紙1のとおりである。

5 業務の細目及び要求水準

指定管理者が行う業務の範囲及び細目事項並びに要求水準は、次のとおりとする。

◆施設維持管理業務

項 目	内 容	要 求 水 準
1	施設の維持管理に関する業務	
①施設設備等保守管理業務	対象範囲：①建築物の内外壁、柱、建具、床、階段等の各部位及び各室 ②電気・機械及び防災設備 ③運動用具、トレーニング機器及びその他の物品等 ④他屋外の各スペース及び駐車場を構成する部材等	
ア 法定点検等	・別記1に基づき、設備等法定点検及び必要と認められる点検を行う。	・法令の定めに従い点検し、必要な対応を行う。
イ 法定以外の点検等	・別記2に掲げる業務を行う。	・施設設備を適正に維持するための点検を行う等必要な対応を行う。
ウ 電気・機械設備等の中央監視、日常保守等	・中央監視室において各設備の運転、監視、制御を行う。	・中央監視業務（運転、監視、点検、制御、記録等） ・日常点検 ・定期点検等
エ 事務所、体育用具、トレーニング機器、その他物品等の管理	・業務を処理するために要する室及び供与物品（別紙）の管理 ・供与物品の廃棄等の異動が生じる場合は、道へ報告する。	・室及び供与物品を善良な管理者の注意をもって管理する。
オ 修繕	・メインアリーナ棟、サブアリーナ棟、管理・研修棟、弓道場棟、工作物等を構成する各部材の点検及び修繕	・各部材の劣化、破損、変形等について日常的に点検し、迅速に修理 ・修繕等を行い、機能上、安全上、美観上良好な状態に保つ。
カ 施設管理の記録・保存	・施設の管理状況及び修繕状況を電子データで蓄積・管理する。	・施設の管理、修繕の状況を正確に記録し保管するとともに、記録した内容を定期的に道に報告する。
②環境維持管理業務	対象範囲と内容：①敷地内の緑地、各スペース及び建物内のゴミ処理、清掃 ②水と緑の広場の清掃、衛生管理等 ・対象範囲のゴミの収集・搬出 ・対象範囲の日常・定期・特別清掃の実施 ・水と緑の広場における異物の除去等 ・敷地内庭園の樹木、芝生の管理	・施設利用者が安全かつ快適に利用できるようゴミの収集・搬出を適宜行う。 ・清掃は、日常・定期・特別清掃を適宜に組み合わせた作業計画を策定・実施し、施設内の美観と衛生を保つ。 ・樹木、芝生等の適正な管理（施肥、薬剤散布、除草等）を行い美観を保つ。
③警備業務	対象範囲：施設内全体、駐車場、施設周辺等	
ア 巡視・点検等	・施設内の定期巡視、利用指導、建物・工作物等の点検を適切に行う。	・施設の利用状況を常に把握し、事故、災害、犯罪等を未然に防止し、財産の保全を図る。
イ 夜間警備業務	・出入口開閉 ・施設内の巡回警備 ・メインアリーナ棟、サブアリーナ棟、管理・研修棟、弓道場棟、駐車場等の夜間警備	・毎日、定期に巡視・点検を行う。 ・指定箇所の夜間警備は、巡回警備とする。
ウ 記録管理	・巡視及び警備の実施状況を日誌に記録管理する。	・防災センターの自動警報監視装置による警備 ・地域特別警備の実施（迷惑駐車対

④除雪業務	・施設敷地内の除排雪を行う。	策等) ・利用者が安全かつ快適に利用できるように、積雪時に実施する。
2 その他		
①その他体育センター利用者の安全確保に必要な業務		・天候、施設の混雑度及び利用者の状況に応じて適宜安全指導等を行う。
②道が行う行政財産の使用許可及び行政財産の貸付けに伴う、各種メーター数値の確認及び報告		・行政財産の使用許可及び貸付けに伴う建物使用料の算出に必要な電気・ガス等の使用数値等を、道が求める時期までに報告する。(毎月)

◆ 施設及び事業運営業務

項目	内 容	要 求 水 準
1 体育、スポーツ振興等事業に関する業務		
①各種競技大会等の開催	・スポーツの国際化等に伴う各種スポーツ、教養イベント等の開催のための誘致活動を積極的に行う。 ・ホームページの有効活用など、利用促進に係る広報・PR活動を積極的に行う。	・スポーツ関係団体、地元自治体、住民団体等と連携、協力し、効果的かつ効果的な利用促進策を実施する。 ・管理の目標に定める利用促進に関する達成目標を達成する。
②道民の体育、スポーツ振興のための事業開催	・体育の日等の開放事業など、道民が気軽に施設を利用しスポーツに親しめる機会の提供を行う。 ・道民ニーズに基づいた各種スポーツ教室等の事業を開催する。	・体育の日及びこどもの日に各種スポーツの指導、実技等を行いスポーツの振興を図る。
2 体力・健康づくりのための事業に関する業務		
①道民の健康・体力維持向上のための測定等事業	・トレーニング、体力測定に関心のある道民を対象に、機器を活用した科学的トレーニングや健康体力測定等の普及促進を図る。 〔トレーニング機器、体力測定システム等による業務の実施〕 (スポーツトレーナー等による技術支援・助言等)	・トレーニング機器は現行機器と同等以上の機能、効果を有する機器を使用する。(別記3、4のとおり) ・体力測定システムは現行機器と同種、同仕様の機器を使用する。(別記5、6のとおり)
3 スポーツ競技力向上事業に関する業務		
①スポーツ選手等の体力づくり・競技力向上のためのスポーツ医学的視点からのトレーニング・測定事業	・スポーツ選手やスポーツ愛好家が各種スポーツ機器を使用した効果的な体力づくりを行い競技力の向上等が図られるよう支援を行う。 ・各種体力測定を実施し、競技力向上やスポーツ適性判断、今後のスポーツ活動や健康な生活のための基礎資料の作成を行う。 ・トレーニングプログラム及び運動処方に従って、各種トレーニング機器を使用した体力づくり等を行う。(医師、スポーツ医学相談員等による指導・援助) ・標準的な業務量：毎月2日間各4時間 〔測定機器等による業務の実施〕 ・国立スポーツ科学センターとの連携により競技力の向上を図る。	・測定機器は現行機器と同種、同仕様の機器を使用する。(別記7、8のとおり) ・国立スポーツ科学センターと測定事業等、科学的トレーニングについて各種情報交換を行う。 ・測定事業が円滑に実施できるよう、予約者の取りまとめ及び医師等への連絡調整等を行う。 ・医師等への謝礼金は、下記の金額を上限として指定管理者が別途決定の上、事業実施毎に支払うこと。 (医師) 11,560円/1h (スポーツ医学相談員等) 7,230円/1h
※ 本施設の測定室は医療法上、診療所であり、管理者(医師)が必要である。		
4 スポーツ情報提供のための事業に関する業務		
①スポーツ情報提供のための事業	・多様なスポーツ情報のニーズに応えるために、スポーツに関する図書・DVDソフト等の整備、各種情報・資料等の収集・整理・提供を目的としてスポーツ情報室・資料室の運営を行う。 ・インターネットによりスポーツ情報を提供する。	・道民のニーズにあったスポーツ情報の提供に努める。
5 施設運営に関する業務 (スポーツ活動等のための施設の提供)		
①利用窓口		
ア 利用者への接遇	・案内、各種受付、利用承認、利用指導等適切かつ丁寧な対応を行う。	・総合案内カウンター及び受付業務には1名以上を配置し、利用者へのサービスに支障がなく対応できる人員体制とする。
イ 苦情対応	・利用者からの苦情等に応答、対応	

	・苦情処理経過の記録及び道への報告	・障がい者及び高齢者等の利便に配慮する。 ・苦情に対し迅速かつ適切に対応し、速やかに道に報告する。 ・判断が困難な場合は、速やかに道に連絡し、その指示を受けるものとする。 ・設備等については定期的な点検を行うほか、貸出し、回収の都度、安全点検を行う。
ウ 利用調整	・施設の利用に関し、団体等との調整を行う。	
エ 設備、運動用具等貸出業務	・施設の設備及び運動用具等の貸出しを行う。	
②利用料金收受等業務		・設置条例及び規則等の定めるところにより、適切に利用料金を收受し、又は減免等を行う。 ・利用者に対する不当な差別的取扱いがないようにしなければならない。 ・業務にあたっては施設予約管理システム（基本情報・マスター保守機能、予約管理機能、実績管理機能、料金管理機能、統計管理機能等）を使用する。 施設予約管理システムは現行機器を引き継ぎ使用する。（別記9、10のとおり）
ア 規定	・北海道立体育センター条例（以下「設置条例」という。）の規定により適正に処理する。	
イ 利用承認	・設置条例第9条の規定によりあらかじめ利用承認をすること。ただし、条例第10条の各号に該当するときは承認してはならない。	
ウ 利用の制限等	・設置条例第12条の各号に該当するときは、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは停止する。	
エ 利用料金の收受	・施設を利用しようとする者から、当該施設の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を收受する。	
オ 利用料金の決定	・施設等に係る利用料金については、設置条例第13条で定める利用料金の額を上限に、指定管理者が知事の承認を受けて定める。 ・変更の場合も同様とする。	
カ 利用料金の還付	・既納の利用料金は還付しない。ただし、北海道立総合体育センター管理規則で定める基準に基づき全部又は一部を還付できる。	
キ 利用料金の減免	・北海道立総合体育センター管理規則等で定める基準により利用料金の減免を行う。	
③利用促進業務		・地元自治体、住民団体等と連携、協力し、効率的かつ効果的な利用促進策を実施する。 ・メインアリーナの年間の非スポーツ利用日数は100日以内とする。ただし、あらかじめ道の承認を受けた場合はこの限りでない。 ・管理の目標に定める利用促進に関する達成目標を達成する。 ・満足度調査は日常的に実施し、年度末にその結果を報告する。
ア 広報等		
広報活動	・各種イベントの誘致等	
パンフレット等	・パンフレット等の作成及び配布	
行事案内	・毎月行事案内の作成及び配布	
インターネット	・体育センターのホームページで利用状況、施設概要、各種イベント等の情報提供を行う。	
イ 利用者の満足度の把握	・利用者のニーズを把握するため満足度調査の実施及び道への報告 ・実施方法については、あらかじめ道と協議する。	
6 地域住民等との協働推進に関する業務		
①地域住民等との協働推進	・近隣市町村・スポーツ団体等、地域住民と共に行う事業の企画・運営	・気軽に、地域住民が参加できる取組を実施する。
7 事故処理等に関する業務		
①事故発生時対応		
ア 事故処理	・施設内での事故発生（事故、盗難、急病人やけが人）時には、直ちに被災者へ必要な措置を施すとともに管轄の警察署等関係機関へ連絡・通報するなどの適正な事故処理を行うとともに速やかに道に報告するものとする。 ・事故後の安全対策を適切に行う。	
イ 安全対策	・事故後の安全対策を適切に行い、被害の拡大及び再発を防止する。	
ウ 連絡体制	・事前に関係機関も含めた適正な緊急時連絡体制を確立する。	
エ 保険加入	・協定に定める施設賠償責任保険に加入する。	
②災害時対応		
ア 施設の利用禁止等	・災害、荒天、事故等により施設の区域若しくは各施設の利用が不可能と認められる場合、又は、施設の管理上やむを得ない場合で緊急を要する場合において、あらかじめ道の了解を得ることが困難である場合は、供用時間の変更、施設の利用禁止、立入禁止区域の設定、その他必要な措置を講ずる。	
イ 収容避難場所機能の確保等	・台風、地震、火災等の災害時には、「北海道地域防災計画」「札幌市地域防災計画」に従い、災害発生時における北海道及び札幌市災害対策本部の指示に基づいて、収容避難場所又は一時滞在場所としての機能を確保するとともに、警察や消防等、関	

		係機関との連携・協力を図る。
	ウ 利用者の安全確保	・台風、地震、火災等の災害時には、利用者の誘導等安全確保を万全に行う。
	エ 応急措置	・台風、地震、火災等の災害による復旧のうち、風倒木の除去、枝葉の除去、支柱の手直し等の軽微なものについては、指定管理者がこれを行うものとする。なお、倒木の復旧、撤去等については、道と協議の上、その復旧に当たることとする。
	オ 道に対する報告	・上記の場合、いずれも速やかに道に報告するものとする。
8	各種報告等に関する業務	
	①事業報告書	・規則第9条に基づき、業務実施状況等について毎年度終了後30日以内に道に報告する。なお、利用者数実績については、設置条例別表に定める区分及び時間帯別の内訳を報告するものとし、利用料金の減免については、減免区分別の減免件数を報告するものとする。
	②利用状況の報告	・毎月の施設の利用状況及び利用料金収入について、翌月の10日までに道へ報告する。
	③その他	・その他道が必要と認めるもの
9	レストラン及び売店の管理運営業務	
	<p>施設利用者の利便向上のため、施設内に道が設置したレストラン・売店スペースについては、申請者が自らの判断に基づいて提案を行い、当該提案趣旨に沿って指定期間中運営する。</p> <p>また、当該便益施設の管理運営に伴う収益は、指定管理者の収入とし、管理運営に要する経費は指定管理者の負担とする。なお、運営を開始するに当たり、品目、価格その他について道と事前協議を要する。</p> <p>【指定施設】</p> <p>①レストラン（1箇所） 管理研修棟 1階 315.64㎡</p> <p>②売店（3箇所） メインアリーナ棟 地下1階 33.15㎡ メインアリーナ棟 1階（2箇所） 各23.30㎡</p>	
10	指定管理者の名称の表示	
	施設が指定管理者により管理運営されていることを示すため、指定管理者名と表示設置者（管理者）である道の連絡先を施設内に表示するとともにパンフレット等にも明示するものとする。	
11	その他	
	指定管理者は、上記業務のほか、施設の業務を円滑に推進するため必要な業務を行うものとする。	

◆施設保守点検項目

法定点検等

施設の定期点検 専門家による定期点検・整備を行い、施設の安全性を確保する。
(定期点検結果及び整備内容を記録し、管理する。)

項 目	回 数
受変電設備保守業務	年12回
受変電設備定期点検業務（動力現場盤保守業務含む）	年1～2回
自家用発電設備保守点検業務	年1回
無停電電源設備保守点検業務	年2回
アクティブフィルター保守点検業務	年1回
蓄電池設備保守業務	年2回
空気環境測定業務	年6回
地下貯油槽清掃業務	年1回
空調機保守点検業務	年1回
空調機フィルター清掃業務	年12回
吸収冷温水機保守業務	年4回
冷却塔保守業務	年4回
送風機保守業務	年1回
自動火災報知設備・防火排煙設備保守点検業務	年2回
シャッター・防煙たれ壁保守業務	年1回
防火シャッター保守業務	年1回
消火設備（放水銃システム機器）保守業務	年2回
消火設備（消火器）保守業務	年2回
消火設備（スプリンクラー）保守業務	年2回
非常用放送設備保守業務	年2回
誘導灯・誘導標識点検保守業務	年2回
中央監視設備保守業務	年1回
空調自動制御機器保守点検業務	年4回
エレベーター設備保守業務	年12回
ゴンドラ保守業務	年2回（保守点検）、年1回（性能検査）
汚水槽清掃業務	年2回
飲料用受水槽・雑用水槽清掃業務	年1回
雑排水槽清掃業務	年2回
上水・雑用水滅菌装置保守業務	年12回
飲料水水質検査業務	年1～2回
給湯水水質検査業務	年1回
井水水質検査業務	年1回
雑用水水質検査業務	年6回
ばい煙濃度測定業務	年2回
厨房グリスピット清掃業務	年24回
フォークリフト保守点検業務	特定自主検査：年1回、定期検査：年11回
ねずみ昆虫等防除管理業務	年12回
建築基準法第12条第2項及び第4項の規定に基づく定期点検	規定回数

◆施設保守点検項目

法定以外の点検等

電気・機械設備運転業務
テレビ共聴設備保守点検業務
電気時計設備保守点検業務
ナースコール設備保守点検業務
音声誘導システム設備保守点検業務
競技用表示盤保守点検業務
真空式温水機保守点検業務
水熱源ヒートポンプ保守点検業務
ポンプ保守点検業務
熱交換機保守点検業務
デリバントファン保守点検業務
貯湯槽清掃業務
ブラインド保守点検業務
ファンコイルユニット保守業務
電光表示設備保守点検業務
ロードヒーティング保守点検業務
ITV設備保守業務
視聴覚設備保守業務
防犯監視設備保守業務
自動扉保守業務
ビル用マルチエアコン保守業務
空調換気扇保守業務
冷温水管濾過防錆装置保守業務
厨房脱臭装置保守業務
排煙オペレーター保守業務
電話交換設備保守業務
井戸保守業務
雨水槽・逆洗水槽清掃業務
雨水濾過装置保守業務
大型映像設備保守業務
音響設備保守業務
舞台照明設備保守業務
調光設備保守業務
舞台吊物等保守業務
電動式移動観覧席保守業務
体育施設床金具等保守業務
体育器具保守点検業務
クライミングウォール保守業務
券売機保守管理業務
安土点検保守業務
排水管清掃業務
カーペンターメンテナンス保守業務
生産井戸清掃業務
蓄熱槽清掃業務
還元井戸清掃業務
非常用ガスタービン発電設備保守業務
トレーニング機器保守管理業務
測定機器保守管理業務

管 理 の 目 標

指定期間	令和4年度から令和8年度まで	施設名	北海道立総合体育センター
------	----------------	-----	--------------

1 北海道立総合体育センターの使命

より多くの道民に、体育・スポーツ活動や文化・教養的なイベント等に気軽に親しめる環境を提供することにより、道民の生活の安定と本道のスポーツ振興の充実を図る。

2 目的【上記使命を具体化するため、管理運営事業を通じて達成しようとする成果】

- (1) 指定管理業務等を通じて、施設を利用した体育・スポーツ活動等への参加を促し、利用促進を図る。
- (2) 日常的な保守点検・巡回等の業務を適切かつ効率的に実施し、利用者に安全で快適な利用環境を提供する。
- (3) 地域の住民が身近にスポーツ・文化活動等に参加でき、地域と一体化した協働を推進する。

3 達成目標及び業績指標【指定期間を通じて達成すべき成果及び具体的な指標】

(1) 利用促進

達成目標及び業績指標	基準年 2ヶ年 平均	指 標 値					評価基準	評価 比率	評価 点
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
①施設利用者数の増員 【年間804千人以上確保】	803,878 人	804,000 人	804,000 人	804,000 人	804,000 人	804,000 人	指標値 +10%以上 +5~10%未満 ±5%未満 -5~10%未満 -10%未満	1.2 1.1 1.0 0.9 0.8	20
②国際・全国規模のスポーツ 大会開催誘致 【年間35大会以上】	35 大会	35 大会	35 大会	35 大会	35 大会	35 大会	指標値 +3大会以上 +1~2大会 指標回数 -1~2大会 -3大会以下	1.2 1.1 1.0 0.9 0.8	20

(2) 安全かつ快適な利用環境の提供

達成目標及び業績指標	基準年 3ヶ年 平均	指 標 値					評価基準	評価 比率	評価 点
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
○施設内及び駐車場における 日常的な巡回・安全指導を効 果的に実施し、施設利用者に よる事故発生件数を年間2件 以内とする。	0件	2件 以内	2件 以内	2件 以内	2件 以内	2件 以内	指標値 -2件以下 -1件 指標件数 +1件 +2件以上	1.2 1.1 1.0 0.9 0.8	10
○職員資質の向上（安全管理 ・サービス向上に関する研修 の開催（3回以上）	9回	3回 以上	3回 以上	3回 以上	3回 以上	3回 以上	指標値 +2回以上 +1回 指標回数 -1回 -2回以下	1.2 1.1 1.0 0.9 0.8	10

(3) 地域住民等との協働推進

達成目標及び業績指標	基準年 3ヶ年 平均	指 標 値					評価基準	評価 比率	評価 点
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
○地域住民等との共催事業及 び協働による取組の実施 (3回以上)	6回	3回 以上	3回 以上	3回 以上	3回 以上	3回 以上	指標値 +2回以上 +1回 指標回数 -1回 -2回以下	1.2 1.1 1.0 0.9 0.8	10

(4) 利用者満足度の調査

達成目標及び業績指標	基準年 3ヶ年 平均	指 標 値					評 価 基 準	評価 比率	評 価 点
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
○利用者満足度の向上 指定管理業務に関する満足度 調査で満足と回答した利用者の 割合を75%以上とすること。	92%	75% 以上	75% 以上	75% 以上	75% 以上	75% 以上	指標値 85%以上 75～85%未満 70～75%未満 60～70%未満 60%未満	1.2 1.1 1.0 0.9 0.8	30

達成度の評価方法

評価点合計	評 価

- 1 「評価点合計」及び「評価」
大項目ごとの評価点の合計数値によりランク分けし、AAA～Cにより評価

	判 定	点 数
総 合 評 価	AAA・・・非常に適切な管理運営である	110点以上～120点以下
	AA・・・十分に達成水準を満たしている	100点以上～110点未満
	A・・・達成水準を満たしている	90点以上～100点未満
	B・・・やや達成水準を満たしていない	80点以上～90点未満
	C・・・不適切な管理運営である	80点未満

2 調整点

目標設定時点では到底予測できなかった特殊事情のため、目標達成できなかった場合に限り、評価点を調整して加点を行う。

調整点は、不測の事態等により目標値に対する達成率が著しく低い場合に加点することとし、総合評価段階で総点数の1割程度の10を加点する。

○現行機器

別記3

トレーニング機器(リース物品)

	品名	規格・仕様等	呼称	数量
1	トレッドミル	走行ベルトはエッジガード構造 速度:0.8~20.0km/h以上 傾斜:-2~15% 電源:単相200V用 走行部潤滑油使用不可 ドライブモーター直流3.0馬力以上	台	7
2	クロストレーナー	傾斜レベルは10段階以上 抵抗レベルは100段階以上 抵抗レンジは0~900ワット以上 下半身の運動を行う機能を有すること 股関節の伸展、屈曲の動作が行えること ドライブモーター直流2.5馬力以上 電源:100V	台	1
3	クロストレーナー	傾斜レベルは10段階以上 抵抗レベルは100段階以上 抵抗レンジは0~900ワット以上 上半身・下半身の運動を行う機能を有すること 股関節の伸展、屈曲の動作が行えること ドライブモーター直流2.5馬力以上 電源:100V	台	2
4	アップライトバイク	負荷範囲は15~900ワット以上 21段変速以上であること 使用中に一時停止ができること	台	5
5	リカンベントバイク	負荷範囲は15~900ワット以上 21段変速以上であること 使用中に一時停止ができること	台	5
6	ロウ	ウェイト総重量は139kg以上 本体フレームはワンフレームによる一体型であること 負荷が一定にかかる機構を有していること	台	1
7	チェストプレス	ウェイト総重量は139kg以上 本体フレームはワンフレームによる一体型であること グリップの軌道が自由となる機能を有していること 負荷が一定にかかる機構を有していること	台	1
8	アブドミナル	ウェイト総重量は138kg以上 負荷が一定にかかる機構を有していること フットペダル調整はガスアシスト機構により操作できること	台	1
9	シーティッド レッグカール	ウェイト総重量は93kg以上であること 本体フレームはワンフレームによる一体型であること 運動開始時と停止時にレンジリミッターの設定又はレンジ リミッターと同等の機能による設定が可能であること 負荷が一定にかかる機構を有していること 背もたれ部は調節可能なこと	台	1
10	シーティッド レッグプレス	ウェイト総重量は229kg以上であること 本体フレームはワンフレームによる一体型であること 背もたれ部は角度が変えられること	台	1
11	ラットプルダウン	ウェイト総重量は91kg以上であること 本体フレームはワンフレームによる一体型であること	台	1

○現行機器

別記4

トレーニング機器(備品)

品名	規格	呼称	数量
全自動血圧計	竹井機器 TK-11431j	台	1
身長計付体内脂肪計	竹井機器 TK-11809b	台	1
J型プレート(50kg)	日本秤錘 J-110	個	4
J型プレート(25kg)	日本秤錘 J-100	個	4
J型プレート(20kg)	日本秤錘 J-90	個	2
ラットプルダウン	セノー(株)ニューアーキューエイトBK9002	台	1
チェストプレス	セノー(株)ニューアーキューエイトBK9001	台	1
スクワットラック	セノー(株)NR-G BM3800	台	1
パワーラック	セノー(株)NR-G BM3700	台	1
フラットベンチ	セノー(株)NR-G BM3500	台	2
アジャスタブルベンチ	ソニー企業 FBR-704	台	1
アジャスタブルベンチ	ソニー企業 FBR-705	台	1
ビューティーベルラック	ソニー企業 FBR-710 6セット収納	台	2
ビューティーベルラック	ソニー企業 FBR-710	台	1
クロームダンベルセット	ソニー企業 SIC-02C~10C	組	2
クロームダンベルセット	ソニー企業 SI-02C~16C	組	1
ダンベルラック	ソニー企業 FBR-712	台	1
ラバーダンベル	ソニー企業 SI-180RDS 180kg	組	1
ラバーダンベル	ソニー企業 SI-300RDS 300kg	組	1
オリンピックウエイトラック	ソニー企業 FBR-707	台	2
オリンピックウエイトラック	ソニー企業 FBR-707	台	1
ラバープレート&バーベル200kgセット	ソニー企業 SI-200RS	組	6
ラバープレート&バーベル200kgセット	ソニー企業 SI-200RS	組	1
J型シャフト	日本秤錘 J-29 20kg 2200mm	本	1
スクワットスタンド	日本秤錘 PL-532W	台	1
ベンチプレス用ベンチ	日本秤錘 PL-106W	台	1
プラットホーム(簡易型)	日本秤錘 PSS-071P	台	1
プラットホーム(競技用)	日本秤錘 WB-153A	台	1
プレートラック	日本秤錘 WB-114E	台	2
スクワットラック	ソニー企業 FL118F	台	1
フラットベンチ	ソニー企業 FBR-702	台	1

体力測定システム(リース物品)

区 分	品 名	規 格	呼称	数量
体力測定システム	TDS ICコントローラー	30SM3002IC	台	1
	OCRスキャナ装置	H3192B	台	1
	TDSヘッドカードシステム(身長・体重・体脂肪計)	30SM3011IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(血圧・脈拍計)	30SM3012IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(肺機能計)	30SM3013IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(長座位体前屈計)	30SM3014IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(握力計)	30SM3015IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(垂直跳計)	30SM3016IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(全身反応計)	30SM3017IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(閉眼片足立計)	30SM3018IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(上体起計)	30SM3019IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(反復横跳計)	30SM3020IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(エアロバイク計3台タイプ)	30SM3021-3IC	台	1
	TDSヘッドカードシステム(背筋力計)	30SM3023IC	台	1
	TDS用コンピューターPCセット	30SM3001	台	1
	レーザープリンター	30SM9888	台	1
	架台	30SH3005	台	16
	TDSソフトウェア	30SM1140W	式	1
現行データコンバージョン	30SM9887	式	1	

体力測定システム仕様書

体力測定システムの導入は本仕様書に基づくものとする。

1 システム構成

①システム基本構成

システムは、次に示す要件を満たすシステムを開発すること。

②システム機能構成

- (1) 体力測定および栄養・生活問診を行い、利用者各人に診断・アドバイス表と当施設を利用してのトレーニングカルテを作成すること。
このトレーニングカルテは継続利用することを前提に本人が希望コースを選択できるようにし、具体的に最適な運動指導ができるものとする。
- (2) 体力測定機器は非接触 I C カード方式とすること。また、各機種とも架台、説明パネル付であること。
- (3) 測定結果、問診結果、トレーニングメニュー内容等のデータは、すべて保存蓄積され、いつでも検索・編集・加工できるものとする。
- (4) システムは、G U I (グラフィカル・ユーザ・インターフェース)を利用して構成され、データの管理にはデータベースソフトを用いること。
- (5) システムの障害時にも迅速に対応できるように、容易にバックアップやリカバリが可能であること。

2 システム要件

体力測定システム

WindowsXP Professional、OracleDataBaseをベースに次の機能を有すること

1 基本条件

- (1) システムは、施設の希望によりカスタマイズが可能であること。
- (2) 現行システムとの互換性を有し、現行データはすべて新システムに移行すること。
- (3) 実際の更新作業については、導入計画を明確にし、オペレーション教育の実施等、新システム導入後、混乱をきたさないように配慮すること。
- (4) 現行システムを充分理解した上で新システムについての打合せを実施し、効率的かつスムーズな移行を行うこと。
- (5) システムは将来における拡張性を十分に持っていること。

2 利用者登録管理

- (1) 利用者登録
- (2) 利用者番号・氏名検索
- (3) 利用者検索・DM作成
- (4) 利用者一覧表作成

3 体力測定

- (1) 測定者登録
- (2) I C カード作成
- (3) 測定結果読取り、登録
- (4) 体力診断表作成

体力診断表の内容については下記条件を満たしていること

- ・ 体重・体脂肪より、ボディタイプを判定し、タイプ別のメッセージを表示すること。
- ・ トレーニング時の目標心拍数が表示されること。
- ・ 体力測定の判定は、日本人の体力標準値(東京都立大)を基に算出されること。
- ・ 測定種目毎の評価、体力年齢が表示されること。
- ・ 今回、前回、初回の測定値が表示され、比較できること。
- ・ 総合評価および要因別の評価がレーダーチャートで表示されること。
- ・ 要因別、前回値との比較に対してメッセージが表示されること。
- ・ 家庭でできる運動プログラムが表示されること。

4 生活習慣分析

- (1) 問診結果OCR処理
- (2) 問診結果入力

- (3) 生活習慣分析表
生活習慣分析表については下記内容の問診および提示内容を満たしていること

①問診内容

- ・ 普段の活動状況(身体活動、通勤・通学の方法)
- ・ 普段の運動状況(回数、時間、種目、理由)
- ・ 飲酒、喫煙状況
- ・ 生活に関する質問(睡眠、疲労感、生活のリズム、気分転換等)
- ・ 治療中の病気、既往歴
- ・ 医師からの指摘項目
- ・ 使用中の薬
- ・ ストレスチェックに基づく問診
- ・ 80kcal1点法による食事調査

②生活習慣分析表の内容

- ・ 飲酒、喫煙へのアドバイス
- ・ 通勤、通学方法へのアドバイス
- ・ 日頃の身体活動へのアドバイス
- ・ 運動に対するアドバイス
- ・ 睡眠、疲労感、生活のリズム、気分転換へのアドバイス
- ・ 精神的ストレス
- ・ 身体的ストレス
- ・ ストレス対処能力
- ・ ストレスに対するアドバイス
- ・ 食品群別必要量・摂取量・過不足・レーダーチャート
- ・ 栄養素別必要量・摂取量・過不足・レーダーチャート
- ・ 栄養に対するアドバイス

5 トレーニング管理

- (1) 利用コース(目的)登録
- (2) トレーニングカルテ作成
- (3) 最大筋力(5RM)入力
- (4) トレーニングカルテ照会
- (5) トレーニングカルテの作成において下記条件を満たしていること。
 - ・ 現在のトレーニングカルテ作成のロジック(目的、推定筋力等)を継承すること。

6 集計・管理帳票

- (1) 集計レポート作成
- (2) 測定結果一覧表作成
- (3) 体力履歴一覧表作成
- (4) カルテ履歴一覧表作成
- (5) 測定項目・性別・年齢別統計表作成
- (6) 測定項目別全国平均値との比較

7 マスター管理

- (1) 体力標準値保守、一覧表
- (2) 運動プログラム保守、一覧表
- (3) 栄養所要量保守、一覧表
- (4) 評価アドバイス保守、一覧表
- (5) トレーニング機器保守、一覧表
- (6) トレーニングメニュー保守、一覧表

測定機器(リース物品)

	品名	規格・仕様等	呼称	数量
1	呼吸代謝測定装置	日本光電 Vma×29Spectra29 カートIc3checg	式	1
2	トレッドミル	S&ME BM-1200	台	1
3	モナークエルゴメーター10KP	モナーク社 828EX	式	1
4	パワーマックス-VII	コンビ パワーマックスVII	式	1
5	ポラールチームシステム (ハートレートモニター)	キャノントレーディング10人用	式	1
6	多用途筋機能評価訓練装置	バイオデックス	式	1
		バイオデックスシステム3 BDX-3	台	1
		バックアタッチメント BDX3-BA	台	1
		アイソマップBDX3-IM	台	1
		データバックアップキット BDX3-DBK	台	1
		無停電電源装置 BDX3-UPS	台	1
		搬入据付調整費	台	1
7	体脂肪測定装置	ライフメジャーメント・インスツルメント社 MAB-1000	台	1
8	乳酸・血糖測定装置	NSI	式	1
		乳酸・血糖測定装置 BIOSEN4040	台	1
		プリンター PRINTY-2	台	1
		キャリングケース	台	1
		センサーヘッド	台	1
		スターターキット	台	1
9	多用途筋機能評価訓練装置	バイオデックス	式	1
		バイオデックスシステム3 BDX-3	台	1
		アイソマップBDX3-IM	台	1
		データバックアップキット BDX3-DBK	台	1
		無停電電源装置 BDX3-UPS	台	1

* 測定機器については、上記機種限定とする。

○現行機器

別記8

測定機器(備品)

品名	規格	呼称	数量
デジタル力量計	竹井機器 1269	台	1
アタッチメントセレクター	竹井機器 1269K	台	1
張力用アタッチメント 30kg用	竹井機器 1269f	台	1
張力用アタッチメント 100kg用	竹井機器 1269f	台	1
張力用アタッチメント 300kg用	竹井機器 1269f	台	1
握力用アタッチメント	竹井機器 5710b	台	1
伸縮自在ワイヤーセット	竹井機器 1281c	組	1
マルチテレメータシステム	日本光電 WEB-5000	式	1
デジタルシグナルコンディショナ	共和電業 EDS-200	台	1
加速度変換器(三軸型)	共和電業 AS-10TB	台	1
加速度変換器(超小型低容量)	共和電業 AS-2GA	台	1
AD変換器	電機計測販売 PH-635D	台	1
酸素救急用蘇生器	ムトウAC-ED-OX-FP	台	1
解析付心電計[解析付心電計]	フクダ電子 FCP-4720	台	1
解析付心電計[架台]	フクダ電子 OT-103	台	1
解析付心電計[コードハンガー]	フクダ電子 OA-120	個	1
解析付心電計[バッテリーバック]	フクダ電子 12HR-4/3AU YIH	個	1
解析付心電計[付属品セット]	フクダ電子 AB110 電源コードほか	組	1
製氷器	ホシザキ IM-25L	台	1
監視除細装置[監視除細動装置]	フクダ電子 FC-1400	台	1
監視除細装置[AC電源充電器]	フクダ電子 PS-4426	台	1
靱帯弛緩測定器	米国メドメトリック社製 KT-2000	台	1

○現行構器

別記9

施設予約管理システム（リース物品）

1 ハードウェア

区分	品名	規格	呼称	数量
データベースサーバ	Express5800/R110d-1M(4C/E5-2403)	N8100-1807Y	台	1
	インテル(R) Xeon(R) プロセッサ E5-2403 (4C/1.80GHz/10M)			
	LAN コネクター (1000BASE-T)			
	AC 電源ケーブル(3m)	K410-246(03)	台	1
	2GB メモリボード	N8102-488	台	4
	RAID コントローラ (512MB/RAID 0/1/5/6)	N8103-150	台	1
	増設バッテリー	N8103-153	台	1
	増設用 450GB HDD	N8150-322	台	3
内蔵 DVD-ROM	N8151-100	台	1	
クライアントハード A	Mate MK25T/GF-H タイプ MG	PC-MK25TGFNH	台	13
	Core i5-4200M (2.50GHz)			
	19型ワイド TFT 液晶ディスプレイ (WXGA+: 1440 X 900) 本体一体型			
	Windows7 Professional 64ビット			
	LAN コネクター (1000BASE-T)			
	250GB HDD	PC-D-HSG25H	台	13
	4GB メモリ	PC-D-MSG40H	台	13
	DVDスーパーマルチドライブ薄型 (CD24倍速 DVD8倍速)	PC-D-C8GM2H	台	13
	PS/2 109キーボード&USB 光センサーマウス	PC-D-KBEPHF	台	13
標準添付品セット	PC-D-KTE64H	式	13	
再セットアップ DVD (Windows7 Professional 64ビット)	PC-D-BCG64H	台	13	
クライアントハード B	VersaPro VK15E/B-G タイプ VB	PC-VK15EBZNG	台	1
	Celeron プロセッサ 1007U (1.50GHz)			
	Windows7 Professional 64ビット			
	LAN コネクター (1000BASE-T)			
	12.1型ワイドWXGA液晶 (1280×800ドット)	PC-N-LNB2WG	台	1
	320GB HDD	PC-N-HSB32G	台	1
	4GB メモリ	PC-N-MAB40G	台	1
	DVDスーパーマルチドライブ薄型 (CD24倍速 DVD8倍速)	PC-N-C8BDSG	台	1
	リチウムイオンバッテリー (M)	PC-N-BABL1F	台	1
	無線LAN (IEEE802.11a/b/g/n)	PC-N-NWBCNG	台	1
USB 光センサーマウス	PC-N-PDAULF	台	1	
標準添付品セット	PC-N-KTB64G	式	1	
再セットアップ DVD (Windows7 Professional 64ビット)	PC-N-BCB64G	枚	1	
プリンター	A4カラーレーザープリンタ 両面印刷標準 (カラー25/モノクロ35PPM) NEC MultiWriter 7600C	PR-L7600C	台	1
	モノクロレーザープリンタ MultiWriter 8250N	PR-L8250N	台	5

2 ソフトウェア

区分	品名	規格	呼称	数量
データベースサーバ	Microsoft Windows Server 2012 Standard (2CPU)	UL1900-001		1
	CA ARCserve Backup r16.5 for Windows	UL1004-HL10		1
	Oracle Database 11g R2 (11.2.0.1.0) インストールメディア	B58806		1
	Oracle Database Standard Edition (14ライセンス)	L61561		14
	Oracle オラクルサポート (4年間)	L61561-M		56
	ウイルスバスター コーポレートエディション Plus 新規 (1年)			1
	ウイルスバスター コーポレートエディション Plus 更新 (3年)			3
クライアント	Office Personal 2013	PC-D-APEXEG		14
	ウイルスバスター コーポレートエディション Plus 新規 (1年)			14
	ウイルスバスター コーポレートエディション Plus 更新 (3年)			42

施設予約管理システム仕様書

施設予約管理システムの導入は本仕様書に基づくものとする。

1 システム構成

①システム基本構成

システムは、施設管理機能を有するパッケージソフトを用い、次に示すシステム要件を満たすシステムを開発すること。

②システム機能構成

- (1) 施設の予約、料金の管理、各種統計の帳票出力等の機能を有すること。
- (2) クライアントサーバシステムを用いた構成とすること。
- (3) システムは、GUI（グラフィカル・ユーザ・インターフェース）を利用して構成され、データの管理にはデータベースソフトを用いること。
- (4) システムの障害時にも迅速に対応できるよう、容易にバックアップやリカバリが可能であること。

2 システム要件

施設予約管理システム

<利用機能範囲>

- | | |
|-------------------|------------|
| (1) 基本情報・マスター保守機能 | (2) 予約管理機能 |
| (3) 実績管理機能 | (4) 料金管理機能 |
| (5) 統計管理機能 | |

(1) 基本情報・マスター保守機能

- ・ 管理する施設に関する情報、予約の形態等をパラメータとして設定するものであり、運用形態に合わせてシステムを正常に稼働させるための環境設定を行う。
- ・ 不正アクセスを防ぐためにパスワード等の設定や職員によって処理に制限をかけることができるようにすること。
- ・ それぞれ施設ごとの休館日や、管理単位ごとの休日が設定できること。
- ・ 条例の変更等により利用料金の改定があった場合、パラメータの設定変更だけで簡単に新料金への改定ができること。
- ・ 職員名、施設使用内容、減免対象団体、減免理由、住所コード、料金などをパラメータ化し、入力の手間を極力省くようにすること。また、システム稼働後にも簡単に追加・削除・変更ができること。
- ・ 利用者管理の機能を有すること。利用者登録時には以下の項目を登録できること。
「氏名（団体名）、住所、電話番号、利用情報等」
- ・ 各種利用者問い合わせに対して、利用者検索機能を有すること。検索キーとして、利用者コード、氏名（団体名）、カナ氏名、郵便番号、電話番号、などの複合検索が可能であること。

(2) 予約管理機能

- ・ 予約管理機能は、施設申し込みに関する一連の処理を行う機能とする。
- ・ 公営行事、大会や競技会などのイベントを予約する際に用いる機能とする。
- ・ 空き施設の予約をする際に用いる機能とする。
- ・ 予約時には以下の項目を入力でき、それに見合った料金の計算も自動で行えること。
なお、利用料金は自動で計算されること。

<予約日時、申請者情報、施設情報、付帯設備予約情報、料金精算情報（入金情報）>

- ・ 予約申請終了後、利用申請番号が自動採番されること。また、条例に従って、必要帳票が自動

的に出力されること。

- ・ 予約画面は、施設数をできるだけ多く表示させる方法（台帳予約画面とする）と、特定施設の日程をできるだけ表示させる方法（選択予約画面とする）の2種類に対応できること。

<台帳予約画面>

- ・ 各施設、7日間以上の予約状況が表示できること。また、スクロールバー等の機能を利用することで、それ以上の施設名や日程を表示できること。
- ・ 区分貸し、時間貸しによる予約状況の表示ができること。その際、タグなどを使った表示方法などにより工夫すること。

<選択予約画面>

- ・ 特定施設の定期的な予約（毎週同じ曜日及び時間帯等）を一括で処理できること。
- ・ 特定施設の7日間以上の予約状況を表示できること。また、スクロールバー等の機能を利用することで、それ以上の日程を表示できること。

<台帳予約画面共通>

- ・ 予約の延長、一部取消しに関してもシステムで対応できること。

(3) 実績管理機能

- ・ 施設利用の実績を入力できること。また一括で画面から実績処理入力できる機能を有すること。
- ・ 実績情報は、予約時の情報に対して実際の利用状況がどうであったかを確認することができること。

(4) 料金管理機能

- ・ 複数の料金体系を入力及び保存でき、選択して利用ができること。
- ・ 施設の予約申請が確認された後の利用料金の入金処理及び、入金後の施設利用の取り消し等に伴う還付処理を行う機能を有すること。

<入金処理>

- ・ 入金情報は、利用申請番号をキーとして入力すること。利用申請番号がわからないときのために、利用申請番号検索機能を有すること。
- ・ 入金処理時には以下の情報を入力できること。
- ・ 利用料金入金日、設備料金入金日、減免率、営利加算率、精算方法、精算対象
- ・ 料金の消込は申請番号から検索し、消込日を入力できること。
- ・ 予約取り消しの際、料金の追徴や還付の処理ができること。
- ・ 施設利用後に精算品目として各種使用料の精算ができること。
- ・ 料金の端数の計算が自由に設定できること。
- ・ 入金済、一部入金済及び未収金の状況が確認できること。

(5) 統計管理機能

- ・ 業務終了後の、日次、月次、年次の管理台帳作成および統計資料の作成ができること。
- ・ 以下の帳票を出力ができ、且つ、検索抽出、編集、加工の上出力できること。

帳票名

利用金徴収報告書	施設利用者数	利用人数（提出用）	対象別利用者数
現金領収証書一覧	減額免除一覧	利用者（利用団体）一覧	稼動状況一覧
利用申請書	利用承認書	利用料免除承認書	現金領収証書
自主事業集計	施設別利用者数一覧	施設利用状況	利用料金収入一覧

北海道立総合体育センター管理運営に係る仕様のモデル

本センターの過去の管理運営に基づき、一般的な仕様を別紙のとおり示します。
 なお、本モデルは管理運営の参考として提示したもので、必ずしも要求水準を満たすものではありません。

○ 事業

- 1 スポーツ振興事業
- 2 トレーニング室・測定室事業
- 3 スポーツ情報室・資料室事業
 - 別添 図書
 - 別添 定期刊行物
 - 別添 ビデオテープ

○ 業務委託

- 1 警備業務
- 2 清掃業務（メインアリーナ）
- 3 清掃業務（管理研修棟）
- 4 清掃業務（サブアリーナ）
- 5 設備総合管理業務（電気・機械設備運転業務）
- 6 電話交換設備保守業務
- 7 エレベーター設備保守業務
- 8 ゴンドラ保守業務
- 9 井戸保守業務
- 10 貯水槽・水質検査・環境測定等業務
- 11 厨房グリスピット清掃業務
- 12 除雪業務
- 13 庭園管理業務 1
- 庭園管理業務 2
- 14 大型映像設備保守業務
- 15 音響設備保守業務
- 16 舞台照明設備保守業務
- 17 調光設備保守業務
- 18 舞台吊物装置保守業務
- 19 電動式移動観覧席保守業務
- 20 体育施設床金具保守業務
- 21 体育器具保守点検業務
- 22 クライミングウォール保守業務
- 23 フォークリフト保守点検業務
- 24 券売機保守業務
- 25 安土点検保守業務
- 26 （削除）
- 27 排水管清掃業務
- 28 カーバンターモニメント保守業務
- 29 井戸清掃（生産井戸）業務
- 30 蓄熱槽清掃業務
- 31 井戸清掃（還元井戸）業務
- 32 非常用ガスタービン設備保守点検業務
- 33 トレーニング室業務
- 34 アスレチックトレーニング機器保守点検業務 1
- アスレチックトレーニング機器保守点検業務 2
- 35 健康体力測定機器保守点検業務 1
- 健康体力測定機器保守点検業務 2

1 スポーツ振興事業

1 趣旨
道立体育センター条例の趣旨を受け、道民の健康増進とスポーツの振興を図ることを目的に実施する。

2 事業

(1) 体育の日開放事業

- ア 参加対象等
一般道民
- イ 実施内容
各種スポーツの指導、ゲーム等の実施
- ウ 実施場所
総合体育センター各施設
- エ 指導者
各種スポーツ指導者の配置

(2) こどもの日開放事業

- ア 参加対象等
小学生を中心とした一般道民
- イ 実施内容
各種スポーツの指導、ゲーム等の実施
- ウ 実施場所
総合体育センター各施設
- エ 指導者
各種スポーツ指導者の配置

2 トレーニング室・測定室事業

1 トレーニング室

各種トレーニング機器を使用した体力づくりを行い競技力の向上及び健康・体力の維持増進を図る。
一人一人の体力や目的に合わせて専門のトレーナーが指導・アドバイスを行う。

(1) 施設利用形態及び内容

区 分	内 容
利用定員	約60名
開設時間	9:00～21:00

(2) 運営体制

- ・トレーナー3名体制
- ・トレーニング実技の指導、助言
- ・利用者受付、資料整理・保管、利用状況の統計調査業務
- ・トレーニング機器の日常的な保守点検業務等
- ・健康体力測定の実施（問診、形態・健康測定、評価判定・運動処方）
- ・その他トレーニング室に係る業務

2 測定室

道民、スポーツ愛好者、スポーツ競技選手等に対し、医師・相談員が各種体力測定を実施することによって得た測定データを基に、医科学的所見及び科学的な総合評価・判定等から、運動処方、トレーニングプログラム等の適切なアドバイスを行い、競技力向上やスポーツ適性判断、今後のスポーツ活動や健康な生活のために寄与することを目的とする。

(1) 施設利用形態及び内容

測定コース名	開 設 時 間	定員	利用方法	内 容
運動体力測定	第2水曜日(17:00～21:00) 第4土曜日(14:00～18:00)	10名	予約制	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の状態・機能と最大酸素摂取量を測定し、運動能力の評価とトレーニングの処方・アドバイスすることによって適切な運動プログラムを提供する。 ・問診、形態・健康測定、心電図測定、持久力測定、評価判定・運動処方
全身持久力測定	第4土曜日(14:00～18:00)	5名	予約制	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素摂取量や二酸化炭素排出等を測定し、酸素消費量の変化や最大酸素摂取量等を把握することで全身持久力(スタミナ)やスポーツ適性を評価する。 ・問診、形態・健康測定、心電図測定、全身持久力測定、評価判定・運動処方、ウェイトトレーニング方法の指導
筋力測定	第2水曜日(17:00～21:00)	5名	予約制	<ul style="list-style-type: none"> ・身体各部の動的筋力を測定し、筋力パワーや最大筋力等を把握することにより、筋肉の特性やスポーツ適性を評価・判定する。 ・問診、形態・健康測定、心電図測定、筋力測定、評価判定・運動処方、ウェイトトレーニング方法の指導
運動技能測定	第2水曜日(17:00～21:00) 第4土曜日(14:00～18:00)	5名	予約制	<ul style="list-style-type: none"> ・運動フォーム、運動中に発揮された力等を測定し、競技力や健康・体力づくりのための正しい運動フォームを評価・判定する。 ・問診、形態・健康測定、運動技能測定、評価判定・運動処方、ウェイトトレーニング方法の指導
複合測定	<ul style="list-style-type: none"> ※ 運動体力測定と運動技能測定 ※ 全身持久力測定と運動技能測定 ※ 筋力測定と運動技能測定 			

※ 開設日以外であっても状況により、測定を実施する場合がある。

(2) 運営体制

- ① 医師
各種検査・測定に伴う安全を管理すると共に、測定結果による医科学的判断を通じて、他のスタッフに対し測定に必要な指示を行い、利用者に医科学的所見を伝える。
- ② 相談員
相談員（運動科学者、薬剤師、理学療法士、トレーナー等）は、医師と共に各種検査・測定を主導すると共に、その結果や、問診及び医師の指示に基づき、利用者の求めるところに応じて運動処方・生活処方を指導する。
- ③ その他
各スタッフがそれぞれの専門性を十分発揮すると共に、積極的な連携により実施する。
各種検査・測定は、利用者の求めるところを重視した内容を、利用者の理解のもとに実施する。
各種検査・測定により得たデータは、付加価値として可能な範囲で統計処理及び分析を行い、実践的なマニュアルやケーススタディーとして関係機関に提出する。
総合体育センター測定室は医療法の定めるところにより診療所となっており、管理者（医師）が必要である。

3 スポーツ情報室・資料室事業

多様なスポーツ情報のニーズに応えるため、スポーツに関する図書・ビデオテープ等の整備、各種情報・資料等の収集・整理を行う。(スポーツデータベース、インターネットによる情報の管理提供等)

(1) 施設利用形態及び内容

① スポーツ展示コーナー

北海道のスポーツ、オリンピック、南部忠平氏等に関する資料の展示

② スポーツブックコーナー

スポーツ新聞、週刊誌、月刊誌、季刊誌をはじめ、体育、スポーツ、健康づくり等に関する一般書、専門書の閲覧

③ スポーツビデオコーナー

体育、スポーツ、健康づくり等に関するビデオの視聴(3台)

④ スポーツQ&Aコーナー

スポーツに関する問題をタッチパネルで答えるゲーム感覚のスポーツQ&A装置の設置(2台)

⑤ スポーツコミュニケーションコーナー

来館者や利用者がくつろげる談話スペースになっており、大型テレビによるスポーツ競技、大会、メインアリーナで行われるイベントなどの放映

⑥ スポーツインフォメーションコーナー

スポーツ施設の情報、スポーツ団体、クラブ、サークルからのお知らせや各種イベントインフォメーションなどスポーツに関する情報の掲示

(2) 運営体制

嘱託職員 4名

・業務～情報・資料の収集・整理、情報の提供・相談、利用者受付、利用状況の調査統計、図書・ビデオの整理、展示等

(3) 図書、定期刊行物、ビデオテープ

別添のとおり

1 専門図書関係

1-1

ゴルフ学大系
 学校保健大事典
 体育スポーツ書解題
 新修体育大辞典
 スポーツ・ヘルス(スポーツ外傷・傷害百科)
 体育・スポーツ指導実務必携 H15年度
 ニュースポーツ事典
 学校体育用語辞典
 新体育科教育

現代の体育・スポーツ科学

- ① コーチングの科学 ② 身体機能の調節性 ③ 女性とスポーツ ④ スポーツと寿命 ⑤ 運動処方
 ⑥ スポーツトレーニング ⑦ スポーツ医学 I ⑧ スポーツダイナミクス ⑨ フィットネススポーツの科学
 ⑩ 体力測定法 ⑪ パワーアップの科学 ⑫ 体力の発達 ⑬ 数理体力学 ⑭ 高齢者の運動と体力

体育社会学研究

- ① 体育社会学の方法と課題 ② 現代スポーツ論 ③ 体育とスポーツ集団の社会学 ④ コミュニティ・スポーツの課題
 ⑤ 体育・スポーツ指導者の現状と課題 ⑥ スポーツ参与の社会学 ⑦ スポーツ政策論 ⑧ スポーツ行動の文化社会学的基礎
 ⑨ 体育授業の社会学 ⑩ 一流競技者の社会学

ランニング事典

最新スポーツ大事典
 球技用語事典
 図解ゲームの指導事典
 老年学大事典
 ニュースポーツ用語事典
 スポーツ医学
 近代オリンピック競技大会資料集成第1巻
 資料集成第2巻

栄養健康科学シリーズ '05新規

健康管理概論
 公衆衛生学
 解剖生理学
 病理学
 栄養教育論
 運動生理学

栄養・健康科学シリーズ

- ① 食品学総論 ② 食品学各論 ③ 食品加工学 ④ 食品衛生学
 ⑤ 栄養学総論 ⑥ 栄養指導論 ⑦ 公衆栄養学 ⑧ 臨床栄養学
 ⑨ 給食管理 ⑩ 健康管理概論 ⑪ 公衆衛生学 ⑫ 運動生理学
 ⑬ 解剖生理学 ⑭ 生化学

1-2

高齢者とスポーツ
 生涯スポーツチェック99
 フィットネス・トレーナー小事典
 トレーニング用語辞典
 アスリートの食事と栄養
 スポーツ相談Q&A
 スポーツ医科学用語集
 21世紀健康・体力づくり読本
 コーチングの実践
 間違いだらけのスポーツトレーニング
 強くなるスポーツ栄養学
 スポーツ科学への招待
 2008年ライフスタイルへの提言
 トップレベルのメンタルトレーニング
 Q&A 体カトレーニング・ワンポイントコーチ
 からだづくり教室(スポーツVコース)
 スタミナアップのトレーニングと食事がわかる
 スピード強化のトレーニングと食事がわかる
 体を変えるトレーニングと食事がわかる
 忙しい人のための簡単にできる10分間トレーニングがわかる
 自宅でひとりできる筋力アップエクササイズがわかる
 ダンベルトレーニングの基本がわかる
 勝つためのトレーニング
 スポーツ別筋カトレーニング最強バイブル
 スポーツ集団のマネジメント
 ひとりで簡単にできるテーピング
 知っておきたいひざのケガ
 コーチのためのトレーニングの科学(実践コーチ教本)
 コーチのためのスポーツ人間学(実践コーチ教本)
 スポーツ・スピード養成SAQトレーニング
 スポーツ選手のためのテーピングガイド
 ジュニアアスリートの食事と栄養
 ジュニア期のスポーツ障害と予防
 安全にスポーツを楽しむための本
 スポーツ障害(コーチングマニュアル)
 身体障害者のスポーツ指導の手引き
 スポーツマンのための筋カトレーニング
 スポーツトレーニング論
 トレーニングの科学的基礎
 トータル・ボディ・トレーニング
 ドミンゲス博士のスポーツ医学百科
 ストレングストレーニング & コンディショニング

イラストで学ぶ筋肉づくりのメカニズム
ウイダー・トレーニング・バイブル
ウイダー・メンタル・コンディショニング・バイブル
ウイダー・スポーツ・ニュートリション・バイブル
ウイダー・フィットネス・バイブル
ウエイトトレーニング(正しいテクニックを究める)
ドリアン・イエーツのすべて
子どものスポーツトレーニング
スポーツ技術の指導(コーチングマニュアル)
生涯スポーツを楽しむために
あるく
高齢者のスポーツ・レクリエーション
スポーツ栄養ガイド
図説・運動の仕組みと応用図
スポーツライフ白書

2-1

体操競技(基本を学ぶために)
体操競技 女子(図解コーチ)
新体操の基礎
新体操(基本レッスン)
女子の新体操
女子体操の指導
エアロビック体操
ジャズ体操
リズムなわとび創作集1
リズムなわとび創作集2
ニコニコ体操

すばらしき登山(基本を学ぶために)
楽しい登山(中高年の安全な登山のために)
山からこんには
消えゆく月に
北海道の山Ⅰ(道北、道東、大雪)
北海道の山Ⅱ(道央、道南、日高)
とっておき北海道の山
ひもとロープの結び方百科
ゼロからはじまるウォーク・ラリー
野外活動テキスト
改訂・キャンプテキスト
キャンププログラム1、2
遊YOUキッズ・アドベンチャー
フリークライミングの真髄
フリークライミング・テクニック

つり(ビギナーシリーズ)

- ①釣り入門 ②防波堤釣り ③船釣り ④釣りの仕掛け
⑤海釣り ⑥ルアー・フィッシング

校外活動ガイドブック

- ①キャンプ ②オリエンテーリング・ウォークラリー ③サバイバル活動
④ウォッチング(植物と昆虫) ⑤バードウォッチング ⑥ウォッチング(雲と星)

私の履歴書(南部忠平)

世界へ跳ぶ
南部忠平財団30周年記念誌

2-2

スポーツ20世紀

- ①サッカー(英雄たちの世紀) ②プロ野球(スーパーヒーロー伝説)
③プロ野球(名勝負伝説) ④超人伝説(記録と限界の挑戦者)
⑤「ニッポン」の栄光 ⑥サッカー(名勝負の記憶)
⑦プロレス(果てしなき格闘ロマン) ⑧カリスマの系譜(スーパースターの最強列伝)

陸上競技のコーチングⅠ(現代スポーツコーチ全集)

陸上競技のコーチングⅡ(現代スポーツコーチ全集)

実戦陸上競技(トラック編)

実戦陸上競技(フィールド編)

ランニングQ&A(ワンポイントコーチ)

陸上競技教室

ランニングのための完全なエアロビックス

箱根駅伝を知り尽くす(スポーツ伝説)

陸上運動の方法

マラソンの科学

マラソントレーニング

スイミングイーブンファスター

新水泳指導教本

競泳のコーチング(現代スポーツコーチ全集)

ダイビングマニュアル

水泳の段階的指導と安全管理

水泳(基本を学ぶために)

水泳教室(スポーツVコース)

ベビースイミング教室(スポーツVコース)

シニアのための水泳トレーニング

水泳(図解コーチ)

ヨットイングへの招待

ヨット(図解コーチ)

ヨットのルール(図解コーチ)

カヌー(図解コーチ)

ウインドサーフィン(図解コーチ)

サーフィン(図解コーチ)

スキューバダイビング(図解コーチ)

スキーの医学
スキー(基本レッスン)
スキー(スポーツシリーズQ&A)
初級者から競技者のための・クロスカントリースキーテクニック教本
初心者のスキー(図解コーチ)
スノーボード(基本レッスン)
スノーボード(図解コーチ)
スケート(基本レッスン)
スケート教室(スポーツVコース)
少年のためのアイスホッケートレーニング
日本アイスホッケー人間伝
アイスホッケー(図解コーチ)

我がフェアウェー・真似てまねされて
逆転! スイング改革
ドクター有川の健康ゴルフ術
パッティングの科学
ゴルフレッスン2

スポーツ・ボウリング(基本を学ぶために)
ボウリング(図解コーチ)
ストレッチング(図解コーチ)
ウエイトトレーニング(図解コーチ)
乗馬(図解コーチ)
ビリヤード(図解コーチ)

2-3
武道論
武道思想の追求
武道への道
武道の科学
バイタル柔道(寝技編)
女子柔道(基本レッスン)
柔道のコーチング(現代スポーツコーチ全集)
柔道教室(スポーツVコース)
柔道教本
最新柔道の形
柔道(図解コーチ)
剣道
高段者への道
剣道(基本を学ぶために)
剣道のトレーニング(スポーツトレーニングコース)
剣道教室(スポーツVコース)
実戦剣道(スポーツシリーズQ&A)
剣道練習プログラム(図解コーチ)
剣道技法の修得法(図解コーチ)
剣道段級審査(図解コーチ)
なぎなた教室(スポーツVコース)
なぎなた入門(基本を学ぶために)
弓道のすすめ(基本を学ぶために)
初心者のための弓道
アーチェリー(図解コーチ)
アーチェリー教室(スポーツVコース)
アーチェリー教本
空手道競技入門(基本を学ぶために)
空手道教室(スポーツVコース)
空手道(図解コーチ)
少林拳入門
少林寺拳法(図解コーチ)
拳法教範(日本伝正統北派少林寺)
太極拳入門
太極拳(図解コーチ)
合気道教室(スポーツVコース)
合気道(図解コーチ)

最新レスリング教室(基本を学ぶために)
ボクシング入門(基本を学ぶために)
クォーターバック・チームプレー編
クォーターバック・個人技術編
ラグビー(基本レッスン)
ウェールズの実戦的ラグビー
実戦ラグビー(スポーツシリーズQ&A)
ラグビー教室(スポーツVコース)
ジム・ブレアのラグビー・フィットネス
ラグビー(選手の潜在能力をひらく)
ハンドボール指導教本(新訂版)
ハンドボールの技術と戦略
実戦ハンドボール(スポーツシリーズQ&A)

卓球指導教本
卓球(基本レッスン)
卓球教室(スポーツVコース)
実戦卓球(スポーツシリーズQ&A)上
実戦卓球(スポーツシリーズQ&A)下
卓球・カットマン編(基本レッスン)
卓球(効果的な多球練習法)
卓球(図解コーチ)

3-2

野球・投手編(テクニカルダイジェスト)
野球・打者編(テクニカルダイジェスト)
アマチュア野球教本(攻撃のマニュアル)
バッティングの正体
実戦ベースボール(スポーツシリーズQ&A)
野球教室(スポーツVコース)
野球のトレーニング(スポーツトレーニングコース)
プロ野球観戦の術(1999)
野球のメンタルトレーニング
科学する野球・実戦編
野球スコアのつけ方(図解コーチ)
野球・ルール(図解コーチ)
野球・攻撃編(図解コーチ)
軟式野球・ルール(図解コーチ)
野 球(選手の潜在能力をひらく)

サッカー(基本レッスン)
新版・チヤナディーのサッカー
サッカーのコーチング(現代スポーツコーチ全集)
実戦サッカー(スポーツシリーズQ&A)
サッカー(基本を学ぶために)
サッカーのトレーニング(スポーツトレーニングコース)
サッカー「世界遺産」(ワールドカップ編)
楽しいサッカートレーニング
サッカーのルールと審判法
少年のためのサッカートレーニング
サッカーの戦術と技術①
サッカーの戦術と技術②
サッカー(図解コーチ)
サッカー練習プログラム(図解コーチ)
サッカーのルール(図解コーチ)
一対一に強くなる・サッカースキル(世界一流プレイヤーの技術)
サッカーがうまくなるためのからだづくり

バレーボール・コーチ教本
新訂・バレーボール指導教本
バレーボール技術クリニック(スポーツ技術クリニック)
バレーボールのコーチング(現代スポーツコーチ全集)
中国バレーボール(理論と実戦)
実戦バレーボール(スポーツシリーズQ&A)上
実戦バレーボール(スポーツシリーズQ&A)下
バレーボールのトレーニング(スポーツトレーニングコース)
バレーボール教室(スポーツVコース)
バレーボール入門教室(スポーツVコース)
詳解・9人制バレーボールのルール
バレーボールマインド
バレーボール・6人制(図解コーチ)
バレーボールのルール 6人制・9人制(図解コーチ)
ソフトバレーハンドブック

バスケットボールのコーチング
バスケットボール勝利への戦略・戦術
バスケットボール(基本レッスン)
球技の戦術体系序説(バスケットボールとバレーボール)
バスケットボールの指導体系
ウイニング・バスケットボール
バスケットボール入門教室(スポーツVコース)
バスケットボールのトレーニング(スポーツトレーニングコース)
バスケットボールのメンタルトレーニング
高さへの挑戦
バスケットボール(図解コーチ)
バスケットボールのルール(図解コーチ)
INDIVIDUAL FUNDAMENTALS BASKETBALL

3-3

テニス・ダブルス編(テクニカル・ダイジェスト)
テニス・シングルス編(テクニカルダイジェスト)
テニス入門編(テクニカル・ダイジェスト)
最新テニス百科(プレイヤーのための戦略と技術)
ジュニアのためのテニス指導教本
テニス(基本レッスン)
VIPのテニス・ドック(原因から探る矯正法)
テニストレーニング
テニスのパワーアップ・トレーニング
実戦硬式テニス(スポーツシリーズQ&A)
楽しいテニス(基本を学ぶために)
テニスのメンタルトレーニング
テニス戦略ノート(勝つためのチェック・ポイント)
硬式テニス(図解コーチ)
ソフトテニス・グラウンドストローク編(テクニカル・ダイジェスト)
ソフトテニス・ボレー編(テクニカル・ダイジェスト)
ソフトテニス(図解コーチ)

実戦ソフトボール(スポーツシリーズQ&A)
ソフトボール教室(スポーツVコース)
ソフトボール(図解コーチ)
ソフトボールのルール(図解コーチ)

バドミントン・ストローク編(テクニカル・ダイジェスト)

バドミントン(基本レッスン)
バドミントン教室(スポーツVコース)
バドミントンのすすめ(基本を学ぶために)
バドミントン(図解コーチ)

野球が突然うまくなる
野球上達bookピッチング
野球上達bookバッティング
野球上達book守備&フィールディング
サッカーが突然うまくなる
サッカー上達book
フットサル上達book
ソフトボール上達book
テニス上達book
ソフトテニス上達book
バスケットボール上達book
バレーボール上達book
バドミントン上達book
卓球上達book
すぐわかるアメリカンフットボール
すぐわかるラグビー
剣道上達book
ひと目でわかる剣道のルールと試合
空手道上達book
合気道上達book
柔道上達book
マラソン完走book
ボクシング上達book
水泳上達book
スノーボード上達book
スキー上達book
今すぐ使えるメンタル
今すぐ使えるメンタル(コーチ)
サッカー競技規則
改訂スプリットトレーニング
落合博満の超野球学①
落合博満の超野球学②
江夏豊の超野球学
スポーツの達人になる方法
三浦敬三 生涯現役
スキューバダイビング
レスキューマニュアル
スポーツ経営学
スポーツ産業論

2 健康双書関係

スポーツフィットネスのための「サプリメントがわかる」
スポーツフィットネスのための「サプリメントがもっとわかる」
スポーツフィットネスのための「ビタミン・ミネラルがわかる」
スポーツフィットネスのための「炭水化物・脂肪がわかる」
スポーツフィットネスのための「アミノ酸がわかる」
スポーツフィットネスのための「たんぱく質がわかる」
健康のなぜに答える本
運動不足病に克つ「スーパー元気術」
いままでの健康法では健康になれない
運動生理学からみた「身近な健康増進法」
知っておきたい「スポーツマッサージ」
知っておきたい「スポーツ食事栄養学」
町の名医が語る「糖尿病は怖くない」
町の名医が語る「肝臓病は怖くない」
町の名医が語る「高血圧は怖くない」
改訂版・いまスポーツで子どもが危ない
21世紀へ！！ワイン健康法！
エグゼクティブよ 現代病を吹き飛ばせ！
健康医学よもやま話
働きざかりのヘルスガイド
ウルティモ・レボルシオン
ローリングヨガ健康法
薬草歳時記
ボケ老化を防ぐラバーチューブ体操
ビジネスマンのための「ボディ・リストラクチャリング」
年表式・近代スポーツの歴史
再録！ヒーロー・インタビュー(スポーツ伝説)
Sports mede Express
①ドーピングの現状・現実を語る ②マウスガード ③スポーツビジョン
④運動性無月経 ⑤メンタルマネージメント ⑥乳酸 ⑦水死事故 ⑧AT

自覚症状の探索
食べ物のメリット・デメリット事典
「塩」あなたはまだ不安ですか
「油」このおいしくて不安なもの
「肉」こうして食べれば心配ない
「水」こうして飲めば心配ない
「卵」食べ方上手は不安知らず
いまからでも治る 防げる「骨粗鬆症」
陰陽調和料理で健康
魚と付き合う健康法
食べ物健康法
食べ合わせ健康法

新よもぎ健康法
食と性で健康
病気別食と薬の健康管理
もっと気ままにベンジタリアン
見分けて選ぶ輸入食品QA
民間茶薬効事典
不安な食品とつきあう法
新・食品添加物とつきあう法
薬になる食卓料理
自然食は安全か
あなたの食卓の危険度
野菜はガンを退ける
野菜は薬だ
野菜で老いを美しく
台所用品の不安とつきあう法
医食同源の最新科学
健康食入門
生活科で健康を教える
自分でできる「経絡気功」
気功で治す子どもの病気
「生体リズム障害」がわかる本
病いの効用
学校で健康文化を創る
お母さんが治す「子どものアトピー」
患者が語るアトピー「ぜんそく治療体験記」
アトピーを治した
専門医に聞くアトピーぜん息最新治療法
子どものアトピー
生まれる前と生まれてからのアトピー 献立250
アトピー性皮膚炎食と薬でスキンケア
まりもちゃんのアトピーライフ
アレルギーの衣食住のチェック
子どものアレルギー
病を知り己を知る
いっしょに治るいくつもの病気
子どもの健康ウォッチング
もっと自由に母乳育児
みんな「未熟の親」なんだ
あなたもBUTS症候群
薬の選び方便覧
ふだん着の体力作り
西式健康読本
医者薬・危険のない飲み方
便秘の悩み相談室
たかが便秘されど便秘
学校に行きたくないといわれたとき
不登校をプラス思考で考える
万病を治す合掌健康法
万病を治す冷えとり健康法
水の健康法
なぜたばこは販売禁止にならないか
肩凝り、腰痛、むち打ち症なんか怖くない
ばかにできないダンベル体操
グッドバイめがね、コンタクト
心筋梗塞・助かった患者からのメッセージ
こんなに効くぞぬれマスク

不妊治療
自然流産
お産って自然でなくちゃね
水中出産
お産がゆく
お産って楽しいね
私らしさで産む、産まない
タイミング妊娠法
文化としてのいじめ問題
小中高生の情緒障害はなぜ
楽しくやろうボケ予防
自殺のサインを見逃すな
傷のふしぎ血のだいじ
腰痛を治す操体法
職業にあわせた操体法
リハビリに生かす操体法
子ども操体法
ひとりで操体法
操体法の実際
中高生の薬物汚染
みんなで子育てQA
続健康のしつけ
小学生の体と心
小学生体づくりが心づくり
保健室だから見えるからだところ(小学生編)
保健室だから見えるからだところ(中学生編)
いのちと愛をはぐくむ性教育
性を教える
Eイズと性を学ぶ
みんなで取り組む性教育
からだってすごいね
からだがかれば子どもは変わる
障害児に学ぶ教育の原点

家庭医療事典
過労死しない、させない本
現代人の寿命予知学
あなたも化学物質過敏症
働き盛りの心臓病
腸内細菌のふしぎな話
活性酸素に負けない法
ガンとたたかう・ガンと向き合う
ガンの夫を自宅で看取る
1億半病人を救う道
あなたこそあなたの主治医
よくわかる頸編位症の治療と予防
ほんとうは防げる「歯槽膿漏」
歯・良い治療悪い治療の見分け方
たまには歯みがきを忘れても
歯育て上手は子育て上手
新しい歯周病の治し方
歯のふしぎ骨のだいじ
危険なインフルエンザ予防接種
子どもの成人病
万病を治せる妙療法
こうして治すシックハウス
これなら続く太極拳
食物アナフィラキシー
病いは食から
奇形児はなぜ
さらば二日酔い
心のパズル合わせ
心の時代とメンタルヘルス
食品表示がわかる本
誰にでもできる民間療法
自分で選ぶデイリー体操
心臓発作

食品表示の見方・生かし方
食品被害を防ぐ事典
遺伝子組み換え食品を考える事典
大地の免疫カキト酸
自分でできる中国家庭医学
無意識の不健康
あなたこそあなたの主治医
医者が試したいちばん手軽な健康法
万病の引き金活性酸素に負けない法
誰でもできる指圧法
医者たよらない健康法
誰にもわかる操体法の医学
自力整体法の実際
足腰、ひざの痛みを治す自力整体法
アロマテラピーわたし流
ハーブオイルの本
薬湯、身近な野草で健康風呂
クルック博士のアレルギー読本
アレルギーの薬がわかる本
予防と治療のアトピー献立250
アトピー増やしていこう「食べてもいいもの」
食べ物で治す子どものアトピー
化学物質過敏症家族の記録
インプラントで安心
うんこのふしぎ 排便のだいじ
かぜのふしぎ 免疫のだいじ
アスベルガー症候群
小学生の心がわかる本
中高生のSOS そのとき大人は
小学生のSOS そのとき大人は
子どもから地球への発信
からだづくり、心づくり
お産選びマニュアル
21世紀の健康づくり10の提言
女性のライフステージからみた身体運動と鍵
アスリートのための栄養・食事ガイド

スポーツ科学ライブラリー
走る科学
陸上科学
投げる科学
打つ科学

スポーツ現場の応急処置
女性のゴルフ 基本レッスン
スポーツクラブのすすめ
写真でみる運動百科
スポーツことわざ小辞典
スポーツ科学辞典

○定期刊行物(スポーツ情報室・資料室)

別添

No	品名	発行回数	No	品名	発行回数
1	スイミング&ウォーターマガジン	月1回	24	弓道	月1回
2	陸上競技マガジン	月1回	25	相撲	月1回
3	バドミントンマガジン	月1回	26	北海道のつり	月1回
4	テニスマガジン	月1回	27	新ハイキング	月1回
5	ソフトテニスマガジン	月1回	28	岳人	月1回
6	バレーボールマガジン	月1回	29	山と溪谷	月1回
7	アイスホッケーマガジン	月1回	30	ナンバー	月2回
8	ソフトボールマガジン	月1回	31	格闘技通信	月2回
9	バスケットボールマガジン	月1回	32	ベースボールマガジン	年4回
10	ラグビーマガジン	月1回	33	合気ニュース	年4回
11	ボクシングマガジン	月1回	34	プロ野球ai	年6回
12	スポーツイベントハンドボール	月1回	35	高校野球	年6回
13	卓球王国	月1回	36	乗馬ライフ	年6回
14	トライアスロンジャパン	月1回	37	ゴルフダイジェスト	月1回
15	スキージャーナル	月1回	38	月刊サッカーズ	月1回
16	ランナーズ	月1回	39	スノーボーダー	月1回
17	トレーニングジャーナル	月1回	40	マリンダイビング	月1回
18	コーチングクリニック	月1回	41	スポーツYeah!	月2回
19	みんなのスポーツ	月1回	42	スポーツ報知	
20	サイクルスポーツ	月1回	43	道新スポーツ	
21	近代柔道	月1回	44	日刊スポーツ	
22	剣道日本	月1回	45	スポーツニッポン	
23	空手道	月1回			

○ビデオテープ(スポーツ情報室・資料室)

別添

NO	品名	規格	数量
1	ウエイト・トレーニング基礎編	30分 ジャパンライム(株)	巻 4巻×3
2	上手な歩き方・走り方	25分 健康・体づくり事業財団	巻 3
3	健康体操	30分 健康・体づくり事業財団	巻 3
4	エイジレス体操	20分 健康・体づくり事業財団	巻 1
5	若さを保つ運動	20分 健康・体づくり事業財団	巻 3
6	あなたの体力は	20分 健康・体づくり事業財団	巻 3
7	中高年者のジョギング	14分 健康・体づくり事業財団	巻 3
8	運動の選び方	30分 健康・体づくり事業財団	巻 3
9	ストレッチングでいつまでも若々しく	30分 健康・体づくり事業財団	巻 3
10	その場でできるやさしい疲労回復法	23分 健康・体づくり事業財団	巻 3
11	中高年の年代別健康づくり運動	26分 健康・体づくり事業財団	巻 3
12	運動不足をチェックする	15分 健康・体づくり事業財団	巻 3
13	中高年者のストレッチング	12分 健康・体づくり事業財団	巻 3
14	若さを保つ運動	14分 健康・体づくり事業財団	巻 3
15	40代からの体力と運動	18分 健康・体づくり事業財団	巻 3
16	ファミリースポーツのすすめ	14分 健康・体づくり事業財団	巻 1
17	プライオメトリック・トレーニング	30分 ジャパンライム(株)	巻 1
18	スポーツテーピング	30分 ジャパンライム(株)	巻 6巻×3
19	スポーツ指導者のための実践・スポーツ傷害対処法	30分 ジャパンライム(株)	巻 5巻×3
20	スポーツの科学	19分 桜映画社	巻 3
21	水泳の安全管理と応急処置	21分 (株)学研	巻 1
22	スポーツマッサージの基本	10分 (株)学研	巻 1
23	スポーツ外傷の症状と救急法	10分 (株)学研	巻 1
24	応急処置シリーズ	14分 (株)学研	巻 3
25	テニス教室	20分 東映(株)	巻 1
26	楽しい軟式テニス	27分 東映(株)	巻 1
27	楽しいサッカー教室	28分 東映(株)	巻 1
28	楽しい剣道教室	31分 東映(株)	巻 1
29	楽しい空手道教室	30分 東映(株)	巻 1
30	楽しい軟式野球教室	31分 東映(株)	巻 1
31	楽しいラグビー教室	31分 東映(株)	巻 1
32	楽しい柔道教室	30分 東映(株)	巻 1
33	楽しいなぎなた教室	30分 東映(株)	巻 1
34	楽しいカヌー教室	30分 東映(株)	巻 1
35	楽しいバスケットボール	26分 東映(株)	巻 1
36	明日をきざぐ豊かなスポーツ少年団活動	30分 桜映画社	巻 1
37	明日に向かって翔べ	30分 桜映画社	巻 1
38	スポーツは友だち	29分 桜映画社	巻 1
39	スポーツはぼくらのもの	26分 桜映画社	巻 3
40	婦人とスポーツ	31分 桜映画社	巻 1
41	いつまでも若く美しく	25分 桜映画社	巻 3
42	スポーツクラブ	29分 桜映画社	巻 1
43	生活の中のスポーツ	28分 桜映画社	巻 1
44	コミュニティスポーツのすすめ	23分 桜映画社	巻 1
45	ボディ・コンディショニング・パワーアップトレーニング	65分 (株)日本スカイウェイ	巻 3
46	母と子の旅 自然歩道に行く	32分 (株)学研	巻 1
47	歩く健康法	28分 (株)学研	巻 1
48	育ちざかりの体づくり	28分 (株)学研	巻 1
49	姿勢を考える	30分 (株)学研	巻 1
50	子育ての中の基礎体づくり	20分 (株)学研	巻 2
51	ジョギングを楽しく	30分 (株)学研	巻 1
52	高齢者の体づくり	30分 (株)学研	巻 1
53	器具のいらないウエイト・トレーニング	30分 ジャパンライム(株)	巻 5巻×3
54	サッカー(指導者のためのコーチングビデオ)基本動作と練習法Ⅰ	45分 ベースボールマガジン社	巻 3
55	サッカー(指導者のためのコーチングビデオ)基本動作と練習法Ⅱ	40分 ベースボールマガジン社	巻 3
56	サッカー(指導者のためのコーチングビデオ)基本動作の応用	40分 ベースボールマガジン社	巻 3
57	テニスの基礎技術	26分 (株)学研	巻 1
58	ソフトボール(基礎技術)	34分 (株)学研	巻 1
59	バスケットボール(基礎技術)	30分 (株)学研	巻 1
60	たのしいバドミントン	26分 (株)学研	巻 1
61	楽しいバレーボール	30分 (株)東映	巻 1
62	楽しい水泳教室	- (株)東映	巻 3
63	楽しいテニス教室	24分 (株)東映	巻 1
64	楽しいソフトボール	28分 (株)東映	巻 1
65	楽しいバドミントン	27分 (株)東映	巻 1
66	楽しい卓球教室	28分 (株)東映	巻 1